

ストッパーサドル（SUSボルト・ナット用）仕様書 （S S－SUS）

1. **適用範囲** この仕様書は、ABS工法（エアーバッグ式止水工法）に使用するストッパーサドル（SUSボルト・ナット用）について規定する。

2. **引用規格** 次に掲げる規格は、この仕様書に引用されることによって、この仕様書の規定の一部を構成する。これらの規格は、その最新版を適用する。

JWWA B 117	水道用サドル付分水栓
JIS G 5502	球状黒鉛鋳鉄品
JIS G 5527	ダクタイル鋳鉄異形管
JIS K 6353	水道用ゴム
KIS A 172	電着塗装合金ボルト・ナット仕様書

3. **構造、材料及びその品質** ストッパーサドル（SUSボルト・ナット用）の構造、材料及びその品質は、付図による。

4. **形状、寸法及び許容差** ストッパーサドル（SUSボルト・ナット用）の形状、寸法及び許容差は、付図による。

5. **外 観** ストッパーサドル（SUSボルト・ナット用）の外観は、次による。

5.1 鋳造品の内外面は、滑らかで、鑄巣、ひび、著しいきず、鑄りその他使用上有害な欠点があつてはならない。

5.2 塗装後の仕上がり面は、塗に残し、塗りだまり、泡、膨れ、はがれ、異物の付着、著しい粘着、その他使用上の有害な欠点がなく、表面は滑らかで、寒暑によって異常を生じないものでなければならない。

6. **塗 装** ストッパーサドル（SUSボルト・ナット用）の塗装は、次による。

6.1 サドル、バンド及びキャップ、栓及び、栓押えの塗装は、KIS A 172 による。

7. **検 査** 検査は、次による。

7.1 ストッパーサドル（SUSボルト・ナット用）の検査は、構造、形状、寸法、外観及び塗装について行い、その成績が3.～5.の規定に適合しなければならない。

7.2 材料の検査は、3.に規定する日本工業規格又は仕様書による。ただし、栓ナット、平座金及び保護ワッシャーについては、材料製造業者の発行する材料試験成績書による。

7.3 形状及び外観の検査は、全数検査とする。

7.4 寸法は、任意に抜き取って検査する。

8. **表 示** ストッパーサドル（SUSボルト・ナット用）には、見やすい場所に、次の事項を鑄出し、打刻などで表示する。

- a) トの記号
- b) Dの記号
- c) 水の記号
- d) 刻印座
- e) 製造年（西暦の下2けた）
- f) 製造業社名又はその略号
- g) 適用管種の記号
- h) 呼び径